

(無断転載を禁ず)

かごしま検定～鹿児島観光・文化検定～

第34回かごしまグランドマスター試験 問題用紙

(午前10時00分開始 制限時間120分)

注意事項

1. 答案用紙の記入にあたっては、黒鉛筆またはシャープペンシルを使用する。
2. 答案はすべて答案用紙に記入し、提出する。
3. 答案は答案用紙の「記入例」をよく読んでから、記入する。

令和6年1月28日

鹿児島商工会議所

《自然》

問1. 鹿児島では多くの美しい滝を見ることができる。代表的な千尋滝、大川滝、龍門滝、曾木の滝はその滝にかかる岩肌が異なり、美しい景観を醸し出していることから多くの観光客が訪れる。これらの滝にかかる行政区域名と地層の特徴について、以下の3つのキーワードを入れて200字程度(160字以上、240字以内)の文章で書きなさい。

「火山岩」

「ホルンフェルス」

「マグマ」

《歴史》

問2. 日本資本主義の発展と地方産業育成に関して次の3人をキーワードにして200字程度(160字以上、240字以内)の文章で書きなさい。

「松方正義」

「前田正名」

「加納久宜」

《文化》

問3. 2023年末に日本復帰70周年を祝った奄美群島出身の昇曙夢、龍野定一、泉芳朗について200字程度(160字以上、240字以内)で説明しなさい。但し、以下の3つのキーワードを使用すること。

「ロシア文学」

「無処罰」

「断食」

《産業経済》

問4. 今年、開業20周年を迎える「肥薩おれんじ鉄道」について、200字程度(160字以上、240字以内)の文章で書きなさい。但し、以下の3つのキーワードを使用すること。

「第三セクター方式」

「貨物列車」

「観光列車」

《地域》

問5. 以下の地域に関して次の問に答えなさい。

【1】 始良市に関する文章の空欄に当てはまる語句を記入しなさい。

始良市は南北を鹿児島市と霧島市に挟まれるように位置し、鹿児島市のベッドタウンになっており、鹿児島県で唯一人口が増加している地域である。

2010（平成22）年に始良町・① 町・蒲生町の3町による合併で誕生した。この地域には国の登録有形文化財である① 町立図書館（現始良市立① 図書館）がある。

また、「鉄炮記」の著者である② の墓があり、国の史跡に指定されている。他にも、③ が動物文学を書き始めた場所でもあり、③ 文学記念館も整備されている。

観光施設にも力を入れている。④ 境内には日本一の大楠があり、周囲には釣りやキャンプが楽しめる自然豊かな⑤、露天風呂や食堂などを完備した温泉施設くすの湯も整備されている。

【2】 湧水町の紹介を、200字程度（160字以上240字以内）の文章で書きなさい。但し、以下の3つのキーワードを使用すること。

「合併」

「名水」

「芸術」